

大安寺報

曹洞宗 圓祥山大安寺 住職：長岡俊應

〒039-4401 青森県むつ市大畑町本町80番地
Tel 0175-34-2926 Fax 0175-34-6426
E-mail info@daijanji.jp

名句・名言に学ぶ

マハトマ・ガンディー (政治家・宗教家)
明日死ぬつもりで生きなさい。
永遠に生きるつもりで学びなさい。

年末年始は、一年をふりかえり、来る年の志を立てる時期。皆さんにとって、平成二十七年はどのような年であったでしょうか？平成二十八年にはどのような願いを込め、また、何を目標にされるでしょうか？

この一年、皆さまのご縁の方々が亡くなり、心を痛められたことと存じます。亡くなった方が身近であればあるほど、その悲しみは大きく、また、そのことによつて「いのちが有限であること」「いつ終焉を迎えるかわからない」ことが実感されます。冒頭のガンディーの名言は、そういった人間普遍の学びを踏まえてのものです。奇しくも、スティーブ・ジョブズ (アップル創業者) も「もし今日が人生最後の日だとしたら、今日やる予定のことを私は本当にやりたいだろうか？」といつも自身に問いかけていたそうです。いつ死が訪れるか分からないという「無常観」と、だからこそ時間を大切に生きなければならぬという人生観に裏打ちされています。

実は、この、本来であれば「よりよい生き方」の契機となるはずの「無常観」が、ともすると「どうせいつか死ぬのだから、何をやっても無駄だ」という利根的な生き方に結びついてしまうことがあります。「永遠に生きるつもりで学びなさい」という言葉は、そういった心の迷いにクサビを打つように私たちの心に響いてきます。私たちが生まれながらにして与えられた人生の命題は「己事究明」。「自己の存在を明らかにする」ことです。禅の世界においては、「他ならぬ自己こそが仏なのだ」と悟ることが大切とされますが、そこは決して終着点ではなく、むしろ出発点となります。悟つて後も、それまでと同じようにさらに上へ上へと努力を積み重ねていくことが必要とされます。「この辺で十分だ」と限界を決めてしまうことは、人間としての心の成長を止めてしまうものです。本来、与えられるものではない「生きる意味」を私たちは自ら考え、その生涯かけて追い求めなくてはなりません。そのためにも、来年も共にみ仏の教えを学び、親しんで参りたいものです。合掌



合掌

仏事

Q & A 第七回

Q. 「通夜・葬儀の大まかな行事の流れを教えてください。」

A. 枕勤め

御遺体に読経供養をし、通夜・葬儀の日程や故人についてお聞きします。

○火葬

斎場にて火葬前に読経供養いたします。

○通夜

血脈 (戒名) の授与・読経供養をいたします。

○葬儀

引導法語をお唱えし、読経供養をいたします。

○納骨

○取り越し法要 (百か日まで)

○忌明け法要

当寺本堂にて三十五日もしくは四十九日を目安に行います。(以降は一周忌から)

当寺の最新情報をチェック!

■大安寺ホームページ

<http://www.daijanji.jp>

■大安寺携帯サイト

<http://keitai.daijanji.jp>



@daijanji2010

※行事予定などをお知らせします。



<http://www.facebook.com/daijanji>

大安寺の宗旨：曹洞宗 本山：福井県永平寺・神奈川県總持寺 高祖：道元禪師 太祖：瑩山禪師
ご本尊：釈迦牟尼仏 本尊唱名：南無釈迦牟尼仏 (なむしゃかむにぶつ)